日　退　教

都退教協だより

No.２９７号

2020 年 10 月 14 日発行

東京都退職教職員協議会　会長　谷口　滋
〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館２F 東京教組内
☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

都退教協第 46 回定期総会開催される！
改憲阻止！平和・環境・生存権を守る！

9 月 9 日(水)午後 2 時より、都退教協第 46 回定期総会が東京教組会議室において開催されました。コロナ禍で一度延期され、開催も危ぶまれましたが皆さんのご協力で開催することができました。

総会は、冒頭、祝迫規之常任委員（元東京教組委員長）のご冥福を祈り黙祷のあと佐久間忠夫議長の進行のもと、経過報告、決算、活動方針、予算が決定されました。

運動方針論議では、安倍政治を継承する菅政権による総選挙も見据え、改憲阻止、安全・安心の社会保障制度の確立をめざすこと。コロナ禍で子どもたちも現職の教職員も大変な思いをしていることが報告され、「都退協だより」にも現職にレポートを載せること。朝鮮幼稚園、朝鮮学校への無償化排除の差別を許さず、交流と支援をすること。大田、品川、目黒、港が東京南部教組として組織統合し、再任用・非常勤が支えている。など活発な意見交換がされ、佐久間議長が「あきらめたら終わり、交流を深め頑張っていきたい」と討論を締めくくりました。その後、2020 年度の予算、役員選出、城田常任委員による総会宣言を満場一致で採択して成功裏に終了しました。

柴田会長が退任され顧問に就任しました。長い間、お疲れさまでした。新会長には、谷口が就任しました。今年度は、コロナ禍の影響で来賓をお呼びせずに開催されましたが、例年以上に多くの討論ができ有意義な総会になりました。

総　会　宣　言

学校現場を大きな混乱に陥れた安倍首相による突然の「休校要請」は、3 か月にも及びました。共働きやシングルの家庭などでは突然子どもを返され仕事と家庭の両立は困難を極めました。ネグレクトや DV という状況にある子どもへの影響はさらに深刻です。貧困により給食が命のよりどころになっている子どもにも大きな影響が出ています。

オンライン授業等の強制、自宅研修や事故欠勤の取り扱い等の休校中の様々な課題。学校再開後の男女別の分散登校をはじめ、消毒作業・健康チェックなど過密な時程、

遅れた授業を取り戻そうと時数ばかり気にしているなど課題は山積しています。さらに7時間授業や土曜日授業の増加、長期休業の短縮など心身の疲れは知らないうちに蓄積されています。教職員の多忙化が大きな社会的関心事となる中、学校における働き方改革は完全にストップ状態です。コロナ対策や授業時数確保に名を借りた過重労働が横行しています。

7月27日、東京都教育委員会は来年度から使用する都立中学校教科書の採択を行いました。育鵬社の中学歴史・公民教科書はこれまで採択してきた都立中高一貫校10校、特別支援学校10校のすべてで採用されないという結果になりました。約20年にわたって「作る会教科書」の採択を許してきましたが、ここにきて都立学校での採択を止めたことは大きな前進と言えるでしょう。今後も子どもや教員にとってふさわしい教科書が採択されるよう運動を強めていきましょう。

8月28日、安倍首相の体調不良による辞任会見には驚きと同時に怒りをもって受け止めました。森友・加計・桜等の疑惑について国民への説明責任を果たさないばかりか、隠蔽・改竄・政治私物化により憲法の立憲主義・民主主義・平和主義・国民主権・生存権をないがしろにしたまま辞任しての逃げ切りを許してはなりません。

エネルギー基本計画策定でも原発推進の旗を降ろさず、再稼働推進どころか老朽原発や東電柏崎原発や六ヶ所再処理施設まで動かそうとする愚かな原発推進政策に対しては厳しく批判し撤回を求めていきます。

私達は本日ここに集い、真摯な討論を重ね運動方針を確立しました。当面する政治課題と組織確立を実現し高齢者が安心して暮らせる社会保障制度の改善要求や脱原発の闘いに全力で取り組みます。

2020年9月9日

東京都退職教職員協議会　第46回総会

２０２０年度　都退教協役員

会　　長	谷口　　滋	常任委員	繭山　紀子
副 会 長	安部　東明	〃	齋藤　典子
事務局長	川角　　恒	〃	土井　彰
会　　計	安藤　　隆	顧　　問	秋元　松彦
常任委員	名谷　和子	〃	柴田　迪春
〃	城田　純生	会計監査	長谷川和男
〃	藤崎　喜仁	〃	木谷　恭子
〃	小倉　　武		

退任挨拶

柴田　廸春

在任中は大変お世話になりました。お陰様で何とか役目を果たすことが出来ました。ありがとうございました。

今までも何度かお話ししたことですが、私が都退教協の役員に就くことになったのは突然のことでした。今は、役員会が東京教組の会議室でやっていますので、都退教のメンバーが現職の人に触れることはありますが、20 年以上前は、日退教の事務局が 7 階にあって、当時の鈴木会長が日退教会長を兼ねていた関係で、都退教の会議なども、すべて日退教の部屋でやっていました。それに、今は専ら谷口さんが担ってくださっている「都退教協だより」の作成も、印刷は「東京文久堂」でやっていたこともあって、私自身、都退教のことは、全く知りませんでした。

ですから、私が定年になってすぐ、当時事務局長だった大野昭之さんから電話を受けた時、都退教がどういう団体であるのかも知りませんでした。大野さんはそれを知ってか、知らずか「柴田さん、定年だってね、だったら都退教の仕事手伝ってよ」と言われて、しばし戸惑いました。むろんその時私は定年後も「嘱託員」として「大道中」に勤務し、授業をやっていたので、その旨も大野さんに話しました。すると、大野さんは「嘱託員やっていても、十分やれる仕事だから」といとも簡単に言うのです。そして「とにかく一度顔を出してよ」と言って、次の役員会の日程を知らされ、来るように言われました。その日が水曜日で、たまたま、というより、午後が職員会議なので休みにしていたので、教育会館に出かけていきました。

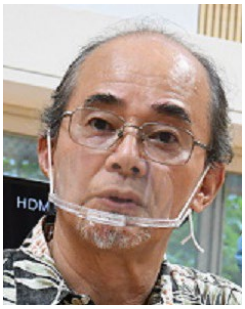
それから 22 年、数年して大野さんが会長になったこともあって、事務局長をやるように言われ、その「宛職」である東京高退連（連合東京の退職者団体）の幹事も同時にやることになりました。その後、秋元さんの会長辞任の後を受けて、会長に選任され今日に至りました。

「厄介なコロナ禍」が一日も早く終息することをひたすら願い、今後は谷口新会長のもと、退教運動のさらなる進展を共に図ることを誓って退任の言葉に替えます。

新任にあたって

谷口滋

都退教協の会長をお引き受けすることになった谷口滋です。退職者・高齢者にとって、「自助・共助・公助」の菅政権の誕生は自分の生活は自分で守らないと大変なことになることを実感させます。私のような「団塊の世代」の高齢化をどう乗り切ることができるかが最大の課題である年金・医療・介護の政策に私たち当事者の声を上げていかなければ、私たちの生活は切り捨てられます。菅政権が高齢者を「お荷物世代」とし、現職世代に高齢者福祉を押し付けられたと感じさせ、高齢者を切り捨てる政策を進めることを危惧しています。みんなで声を上げ、現職の組合員を支援し、連帯するために、多くの仲間が結集する都退教協にしたいと思っています。微力ですが、よろしくお願いいたします。



わが友　祝迫規之を悼む　　生井榮一

「ああ、酒が飲みたいなァ」
受話器を通しての迫ちゃんの声が、耳に残っている。

退職後、何時の頃からか、月１回、寿司屋で日本酒を飲むのが習いとなっていたが、昨年 11 月、私の入院以来、コロナ問題などもあって、手紙や電話のやりとりだけになっていたためである。

目教組、大田教組の書記長時代に出会い、小峰、橋本、内田、対馬名物委員長たちの敷いた反聖職路線の仕上げを、多くの仲間たちと、縁の下の力持ちになって仕上げたことが、切っても切れない仲を作り上げたように思える。その仲介役は「日本酒」。うまい酒、苦い酒、盃に注ぎ合いながら、いつも自然体の迫ちゃんと明日へのエネルギーを醸造していたようだ。

この７月下旬、レストア川崎からの電話の声は、元気なものだった。若い女の子に親切にしてもらえたとのこと。８月２日、留守電に「お手紙有難う、お元気ですか」とあった。これが最後の電話になった。悔いが残る。３日夜、聖マリアンヌ病院に緊急入院。　４日、息子さんから「危篤です」との電話。思わず「大切な友人を殺さないでくれ」と叫んだ。
８日、死去。

ご冥福を祈る。

都退教協総会で現場の声、報告を私たち退職者も知るべきとの意見もあり、現職組合員のレポートを掲載することにしました。第１回は、外山東京教組委員長の報告です。

子どもたちから学校の楽しさが奪われていないか、教職員が、やらなくてもいい仕事に追われていないか、見極めていかなければならない

現場から①

東京都退職教職員協議会の第 46 回定期総会が、コロナ禍の下でも無事開催されたことを、心からお祝い申し上げます。また、現職の教職員が置かれている状況にご心配いただき、ありがとうございます。

今年度は東京教組の定期大会も、5 月から 7 月に延期しましたが、まだ集まって開催できる状況ではないと判断し、本部委員会の承認を経て、書面表決にて実施いたしました。書面での大会は、東京教組結成以来初めてのことで、修正案の取り扱いをどうするかなど何度も検討を重ね、できる限り丁寧に進めたつもりです。書面表決にご協力いただいた代議員や、開票に出席していただいた議長・議運の皆様のおかげで、無事今年度の方針を決定することができました。

安倍首相の「要請」から始まった新型コロナ感染症対策としての休校は3ヶ月にも及びました。自分への批判をかわすためとしか思えない、あまりにも突然すぎる休校に、学校現場は振り回されました。卒業式や入学式の対応も自治体や学校によってバラバラでした。議論を重ねて様々な対策をとって、ようやく準備をしたことも、簡単に覆されました。ゴールがわからない、目に見えないウイルスとの闘いによって、辛く不安な日々が続いています。

また、オンライン授業や動画配信の強制、自宅研修や事故欠勤の取扱いの地域差などの休校中の様々な課題、男女別の分散登校が行われた事例、学校再開後は消毒作業・健康チェックなど過密な時程、遅れた授業を取り戻そうと時数を気にして子どもを追い込んでいるなど、課題は山積しています。さらに7 時間授業や土曜授業の増加、長期休業の短縮など、心身の疲れは知らぬ間に蓄積されています。

子どもたちから学校の楽しさが奪われていないか、教職員が、やらなくてもいい仕事に追われていないか、見極めていかなければならないと思います。東京教組も各支部にアンケートを取って、情報共有にとりくんでいるところです。

東京都公立学校教職員組合
執行委員長　　外山　理佳

ひとこと

会費の振込用紙の「ひとこと」欄に多くの会員が声を寄せてくださいました。
ご紹介します。

吉尾　定　　カンパ、些少で申し訳ありません。皆さん健康で続いて活躍ください。囲碁大会参加したいが東京はちょっと遠いです、93歳の身にとっては…年金改革は分かりにくいですよ。何回も読み直しました。

鈴木忠雄　祝迫さんが亡くなられた事。心よりご冥福をお祈りします。小生、幸いにも 12月で80歳を迎えることになります。会の皆様のご健勝をお祈りします。

堀江昌江　教育予算を倍増して、先進国並みにして欲しい。

岸塚雅雄　お世話になっています

武田好永　歳をとりいろいろ心配です。カンパばかりで生活が心配です。

大場良枝　すみません。次回から退会しますのでよろしくお願いします。

大嶽昇一　子どもたちの未来のために全精力を！

谷　透　　お世話になっています。元気で頑張りました、91歳。

大平哲夫　老齢為、今期で退会いたします。お世話になりました。

小栗尚文　ご健闘を！

中村光夫　鎌倉で住民運動をしています。

関川俊一　共に闘いましょう！！

川島みつよ　柴田廸春会長、ながい間ご苦労様でした。今後のご活躍とご健康を願っています。

太田恵康　昨年4月、家の階段、最上階から仰向けに転落し、骨折や打撲で今も苦しんでいます。妻は介護施設に収容され 1 年になります。私は一人暮らしで大変です。よろしく。

遠藤宏一　シルバーシート使用のため、行動することができず、カンパさせていただきます。

伊達和子　お世話様です。コロナ禍をのり越

えたいですよね。学校現場はきっと大変！

秋元清高　9日の総会は出席できません。病院の予約日にぶつかり、体調も万全でないので欠席します。

望月美江　ずっと家にとじこもっていますが、先月、津田沼での「木更津へのオスプレイ配置」反対の集会に行きました。

生井栄一　ごくろうさまです。

今年度の会費を振り込んでいただいた皆さん ありがとうございます。

敬称略・10月8日現在

宮本秀夫、大平哲夫、小栗尚文、鎌田勝吉、斉田充子、星川健子、別所勝也、堀江昌江、榊原実、岩田雪枝、岸塚雅雄、武田好永、及川輝治、永塚正博、竹田武司、石岡佳子、塚田八代子、大場良枝、鶴田芙紗子、小山　都、福田恵子、山田周司、大嶽昇一、片山政志、谷　透、日高松子、吉尾定、中村光夫、海老沢靖彦、繭山紀子、今関規子、関川俊一、藤井友子、佐々木貴世子、武本和代、川島みつよ、木谷恭子、石橋厚彦、竹山　諭、牛丸教子、内藤貴子、木下裕一、木下美佐子、太田恵康、遠藤宏一、荒木文枝、伊達和子、西村千鶴子、清水和江、秋元清高、本田啓三、佐久間忠夫、島村　誠、望月美江、内田　進、秋田　仁、浜口由利子、横山愛子、前田文生、加藤和雄、満下　嵺、鈴木忠雄、山崎大輔、生井栄一、菅沼京子、深澤　裕、長谷川和男、藤崎みどり、藤崎喜仁、安部東明、安藤　隆、片桐健司、川角　恒、柴田　悦、柴田廸春、谷口　滋、土井　彰、名谷和子、加藤　智、関　嘉夫、岸本靖子、田中文男、平井みや子、中村　登、吉岡満佐江、松下和男、半田秀子、河合新一、林　健、武藤啓司、飛田邦子、

カンパをくださった皆さん、ありがとうございます。

小栗尚文、堀江昌江、榊原実、武田好永、及川輝治、竹田武司、石岡佳子、鶴田芙紗子、小山　都、福田恵子、谷　透　、吉尾定、中村光夫、海老沢靖彦、繭山紀子、今関規子、関川俊一、藤井友子、佐々木貴世子、武本和代、川島みつよ、木谷恭子、石橋厚彦、竹山　諭、内藤貴子、遠藤宏一、荒木文枝、伊達和子、西村千鶴子、秋元清高、佐久間忠夫、島村　誠、秋田　仁、横山愛子、前田文生、鈴木忠雄、山崎大輔、生井栄一、深澤　裕、安藤　隆、藤崎みどり、藤崎喜仁、有賀由美、川角　恒、坂本長則、佐藤　睦、柴田　悦、柴田廸春、谷口　滋、土井　彰、浜口由利子、日比野正道、前田直也、岸本靖子、林　健、

東京都退職教職員囲碁大会　安部さんが優勝

東京都退職教職員囲碁大会（都退教協・都高教退職者会共催）東京都退職教職員囲碁大会は、コロナ禍と台風で開催が危ぶまれましたが、９月 25 日、無事ナーベルお茶の水で開催されました。

参加者は、安部東明さん、及川輝治さん、谷口の３名と都高退から６名でした。

午後４時近くまで熱戦が展開され、B クラスでは安倍さんが優勝に輝きました。

今年は、全国、関東ブロックの囲碁大会がないため代表派遣はありませんが、楽しく囲碁を楽しむことができました。参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

（谷口滋記）

学問と教育の自由を侵すな！
日本学術会議への人事介入に抗議する
抗議ハガキのとりくみを！

菅首相が学術会議の人事に介入して会員 6 名の任命を拒否したことへの批判は大きく広がり、ネットの署名は 15 万筆近くになっています。任命拒否は、特定秘密保護法や安保法制に反対するなど安倍・菅政権に批判的な学者を排除する暴挙です。

日本学術会議は、戦前、学問の自由が奪われ軍国主義に動員された苦い歴史を反省し、学問の独立性、自主性を堅持し軍事研究を否定してきました。教育も同じ歴史から、教育の自主性、独立性を保障する教育基本法を制定しました。

今回の事件は、日本学術会議への不法な介入であり、安倍政権を継承して、戦争ができる国づくりへと学者を従属させる意図があることは明白です。

日本学術会議は、「戦争目的の軍事研究はしない」とする声明を決議してきました。そしてさらに 2017 年、改めて、「これまでの二つの声明を継承する」「安全保障技術研究推進制度について、政府による研究への介入が著しく、問題が多い」とする声明を発しています。

菅政権の過去に例のない露骨な人事介入は、憲法で保障された学問の自由と表現の自由、日本学術会議の自立性・独立性を侵害する暴挙です。

憲法の平和主義、民主主義、国民主権に逆行し、人事による政権の独裁化を図り、武器輸出の奨励と軍需産業の育成にひた走る姿勢・行為そのものといえます。

都退教協は、平和フォーラム・日退教の呼びかけに応え、学問の自由・表現の自由、学術会

議の独立性を脅かす菅政権に抗議ハガキを発出しました。

会員の皆様にも「抗議はがき」のとりくみを呼びかけます。

1.宛先　〒100-8968
千代田区永田町 1-6-1　内閣官房
内閣総理大臣　菅　義偉　様

2.抗議内容
菅政権の日本学術会議への介入に対し以下の項目について抗議ハガキを出してください。
①日本学術会議会員候補の任命拒否による人事への介入
②学問の自由・表現の自由への介入
③日本学術会議の自立性・独立性への介入
④日本学術会議の介入

編集後記

✧　コロナ禍は、収まりそうもなく、インフルエンザもやってくる。会員の皆さん、くれぐれもご自愛ください。

✧　菅政権の最初の仕事が日本学術会議の会員任命拒否とは、呆れてしまいます。学問も国民も馬鹿にされたものです。出鼻をくじかなければ、今後何をしでかすか分かったものではありません。抗議ハガキやネット署名にご協力ください。

✧　その菅首相の経済政策を「スカノミクス」と経済学者の浜矩子さんが命名している。浜さんは安倍前首相の経済政策を批判し、「アホノミクス」と命名した。その安倍政権を継承する菅首相を、経済の本源的使命である弱者救済をせず、自助力のある強者が勝ち残る競走原理主義がスカノミクスであると断罪する。スカノミクスは、「自助、共助、公助」であり、彼が導入した租税競争「ふるさと納税」だと言う。自助力なき者を排除するスカノミクスはアホノミクスより怖いかもしれないと警告している。

✧　私たちが教員だったころは、忙しく大変だったけど、やりがいもあり自由に意見が言えて良かったと思う方々も多いと思います。しかし今の教育現場は大変なことになっています。現職を応援する意味でも今の教育現場を知っていただくために「現場から」シリーズを始めました。(4 ページ) 第一回は、外山理佳東京教組委員長。目の前の仕事に追われる中「子どもたちから学校の楽しさが奪われていないか、教職員が、やらなくてもいい仕事に追われていないか、見極めていかなければならないと思います。」と締めくくっています。次回は、武捨健一郎書記長に執筆していただく予定です。

✧　今年度の会費納入・カンパにご協力くださり、ありがとうございます。振込用紙の「ひとこと」欄に多くの方が一言寄せてくださいました。ありがとうございます。

✧　会費をまだ納入されていない方には、振込用紙を同封いたしました。よろしくお願いいたします。

（谷口記）